

平成27年度気仙沼市社会福祉協議会事業報告

1. 報告（概要）

少子高齢化の進行や家族構成の変化に伴い、高齢者の置かれている状況やライフスタイルが多様化する中で、地域においては生活困窮、介護、虐待問題など生活課題は多岐にわたっています。

また、東日本大震災以降、自治会の解散や住み慣れた地域からの転出や転居等により従来の地域コミュニティ機能が低下し、人と人とのつながりの希薄化や隣近所との交流も少なくなるなど、地域社会も大きく変容しています。

震災から5年が経過し、水産加工団地の造成、魚市場の整備促進、住宅再建、災害公営住宅の建設等復興の歩みが加速されている一方で、多くの方が未だ応急仮設住宅等に入居されており、残された入居者によるコミュニティの維持は難しくなるとともに、新たな定住先におけるコミュニティ構築等が課題となっています。

また、介護保険法の改正により、重度な要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けるため、多様な組織による支え合う地域包括ケアの体制整備が求められており、本市においては、地域包括支援システムの構築のため、「気仙沼市地域包括ケア推進協議会」によるアクションプランが策定されました。

このような状況にあって、本社協は地域福祉を推進する中核的な役割を担う民間福祉団体として「誰もがその人らしく暮らすことができる地域社会の実現」のため、「地域福祉の推進」「介護福祉活動の拠点の整備・活用」「人材確保・育成」「組織管理体制の強化」「福祉サービス提供における「安心・安全」の確保」「各地域における福祉サービスの強化」の6を重点目標とし、また、「気仙沼市社会福祉協議会地域福祉活動計画」推進にあたり、気仙沼市はじめ、地区社協、福祉諸団体、ボランティア、NPO等幅広い感謝との連携・協働の下、地域福祉の充実に努めました。

重点目標

1 「地域福祉の推進」

ボランティアセンター、サポートセンター、高齢者相談室等との連携により東日本大震災による被災者支援とともに、地域コミュニティの再構築のため、連携・協力し、地域行事への協力や見守り、ミニデイサービスへの支援を行いました。また、生活相談所や民生委員・児童委員、法テラス、宮城被災者支援サポート弁護士等との連携の下、相談支援体制の強化を図り各種相談に応じるとともに、宮城県社協等との連携による資金の貸付やコープフードバンクとの協定による食料品の提供を通じ、生活困窮者への支援を行いました。

2 「介護・福祉活動の拠点の整備・活用」

職員が各事業の専門的研修に参加し知識や技術を習得し、良質なサービス提供に努めるとともに、家族からの相談にも応じ開かれた拠点づくりに努めました。

通所介護事業における事故防止のため、定例の事故防止対策委員会を開催し、ケース研究や情報の共有を図り事故防止に努めました。

また、指定管理施設については、利用者の安心安全のための改善や改修について市に対し申し入れを行いました。

社会福社会館の早期建設については、平成23年9月の気仙沼市議会において、「社会福社会館の早期建設を求める請願について」が採択されておりますが、市議会民生常任委員会委員との意見交換を行い、社協の事業内容及び財務状況について説明し、市社協の活動に深い理解をいただきました。また、気仙沼市本吉保健福祉センター「いこい」の完成に伴い、現在の本吉老人福祉センターの取り扱いについて協議を行い、本吉地域の福祉活動の拠点である本吉老人福祉センターの利活用について、市に対し申し入れを行いました。

3 「人材確保・育成」

ハローワーク等を通じ、積極的に求人募集を行い安定的な人材確保に努めましたが、依然として厳しい事業所があることから、今後も関係機関と連携し人材確保に努めます。また、嘱託職員の処遇改善を図り、働きやすい環境づくりに努めました。

4 「組織管理体制の強化」

介護保険事業や障害者支援事業は、利用者との契約に基づくサービス提供であり、法令遵守の上、良質なサービス提供が求められることから、自己研さんに努めるとともに、各種研修会へ参加し組織の強化を図りました。また、管理者会議等の開催による共通認識と情報の共有化を図りました。

また、職員採用試験を実施し、事業所における体制の強化を図りました。次年度においても引き続き採用試験を行い、体制の強化を図ってまいります。

5 「福祉サービス提供における「安心・安全」の確保」

地区社協との連携の下、ボランティアセンター、サポートセンター、高齢者相談室による孤立化や生活不活発病の予防のため訪問活動や地域と一体となった入居者交流事業により地域住民や災害公営住宅入居者が安心した暮らしを送れるよう支援しました。

今後も地域福祉活動計画に基づき、地域懇談会等を通じ課題の把握と問題の解決に努めます。

6 「各地域における福祉サービスの強化」

地域福祉活動計画との整合性を図りながら地域の特性を考慮し、地区社協はじめとして関係機関、団体と連携の下、地域福祉推進フォーラム等を開催し、住民参加による事業の推進に努めました。

しかし、地域福祉は人の意識に働きかける活動でありその推進には多くの方々の理解と参加が必要です。目に見えて直ぐに効果が表れるものではないので、今後も地域特性を生かしながら、地域福祉活動の充実に努めます。

このほか、気仙沼市当局はじめ福祉団体、ボランティア、NPO、企業の皆様方のご理解ご協力をいただき、地域福祉を支える組織基盤の充実と住民参加による福祉サービスの充実のため、地域に根付いた福祉活動の推進を進めてきましたが、社会福祉協議会が実施いたします地域福祉活動には、多くの皆様方からの会費や善意による寄付金等を主な財源としておりますことから、法令遵守はもとより地域福祉を推進する団体であることの意義を再確認しなければなりません。

以下、平成27年度の事業について、報告します。

1. 法人運営事業

事業名	内 容
理事会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、理事会、評議員会を中心として事業を推進しました。 ① 平成 27 年 5 月 21 日（木） 出席者 理事 14 名（内、書面表決 4 名） 【現員数 15 名】 監事 2 名 1 事務決裁規程の全部を改正する規程制定について【同意】 2 委員会規程の一部を改正する規程制定について【同意】 3 平成 26 年度事業報告及び資金収支決算について【認定】 4 平成 27 年度資金収支補正予算（案）について【同意】
	② 平成 27 年 9 月 16 日（水） 出席者 理事 14 名 【現員数 16 名】 監事 3 名 1 気仙沼市社会福祉協議会評議員の任期満了に伴う選任同意について【同意】
	③ 平成 27 年 11 月 16 日（月） 出席者 理事 16 名（内、書面表決 2 名） 【現員数 16 名】 監事 3 名 1 気仙沼市社会福祉協議会会長及び副会長の互選について 2 気仙沼市社会福祉協議会事務局長の任命に伴う同意について【同意】
	④ 平成 27 年 12 月 18 日（金） 出席者 理事 16 名（内、書面表決 5 名） 【現員数 16 名】 監事 2 名 1 特定個人情報の取扱規程の制定について【同意】 2 職員就業規則の全部を改正する規程制定について【同意】 3 嘱託職員等就業規則の全部を改正する規程制定について【同意】 4 個人情報保護規程の一部を改正する規程制定について【同意】 5 経理規程の一部を改正する規程制定について【同意】 6 気仙沼市松峰園指定就労移行支援・指定就労継続支援 B 型事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 7 指定障害児通所支援事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】 8 平成 27 年度資金収支補正予算（案）について【同意】
	⑤ 平成 28 年 2 月 8 日（月） 出席者 理事 16 名（内、書面表決 3 名） 【現員数 16 名】 監事 2 名 1 平成 28 年度事業計画策定方針（案）及び予算編成方針（案）について【同意】 2 役職員旅費規程の一部を改正する規程制定について【同意】 3 役職員等の慶弔規程の一部を改正する規程制定について【同意】 4 事務局組織規程の一部を改正する規程制定について【同意】

- 5 育児休業及び介護休業等に関する規程の一部を改正する規程制定について【同意】
- 6 職員の分限懲戒審査会設置要綱の一部を改正する規程制定について【同意】
- 7 燦さん館デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の一部を改正する規程制定について【同意】

⑥平成 28 年 3 月 22 日（火）

出席者 理事 16 名（内、書面表決 4 名） 【現員数 16 名】 監事 1 名

- 1 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所介護予防・生活支援サービス「訪問型サービス A」運営規程制定について【同意】
- 2 訪問介護ステーションからくわ介護予防・生活支援サービス「訪問型サービス A」運営規程制定について【同意】
- 3 ヘルパーステーションもとよし介護予防・生活支援サービス「訪問型サービス A」運営規程制定について【同意】
- 4 大谷学童保育センター運営規程制定について【同意】
- 5 気仙沼市ホームヘルプサービス事業所指定訪問介護（指定介護予防訪問介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 6 訪問介護ステーションからくわ指定訪問介護（指定介護予防訪問介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 7 ヘルパーステーションもとよし指定訪問介護（指定介護予防訪問介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 8 気仙沼市福寿荘デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 9 やすらぎデイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 10 燦さん館デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 11 大谷デイサービスセンター指定通所介護（指定介護予防通所介護）事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 12 一景島在宅介護支援センター指定居宅介護支援事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 13 燦さん館ケアプランセンター指定居宅介護支援事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 14 津谷居宅介護支援事業所指定居宅介護支援事業運営規程の全部を改正する規程制定について【同意】
- 15 定款の一部を変更する規程制定について【同意】
- 16 定款施行細則の一部を改正する規程制定について【同意】

	17 役員等に関する規程の一部を改正する規程制定について【同意】 18 経理規程の一部を改正する規程制定について【同意】 19 60歳定年退職者の再雇用規程の一部を改正する規程制定について【同意】 20 生活安定資金貸付規程の一部を改正する規程制定について【同意】 21 平成27年度資金収支補正予算（案）について【同意】 22 平成28年度事業計画（案）について【同意】 23 平成28年度資金収支予算（案）について【同意】 【成果】 6回の理事会を開催し、社協の運営に係る審議を行い、法人の健全経営や地域福祉業を効果的に推進することができました。 また、今年度は任期満了による役員及び評議員の改選の年であり、新体制の下、事業を実施しました。
--	--

事業名	内 容
評議員会の開催	【概要】地域福祉の担い手としてふさわしい事業を進めるため、評議員会を中心として事業の推進を図りました。 ① 平成27年5月27日（水） 出席者 評議員19名【現員数32名】 理事3名 監事2名 1 補欠理事の選任について【選任】 2 平成26年度事業報告及び資金収支決算について【承認】 3 平成27年度資金収支補正予算（案）について【議決】 ② 平成27年10月16日（金） 出席者 評議員22名【現員数33名】 理事3名 1 理事及び監事の任期満了に伴う選任について【選任】 ③ 平成27年12月24日（木） 出席者 評議員18名【現員数32名】 理事3名 1 平成27年度資金収支補正予算（案）について【議決】 ④ 平成28年3月29日（火） 出席者 評議員19名【現員数32名】 理事3名 1 定款の一部を変更する規程制定について【議決】 2 平成27年度資金収支補正予算（案）について【議決】 3 平成28年度事業計画（案）について【議決】 4 平成28年度資金収支予算（案）について【議決】 【成果】4回の評議員会を開催し、社協の事業運営に係る審議を行い、法人の健全経営や地域福祉事業を効果的に推進することができました。 また、今年度は任期満了による役員及び評議員の改選の年であり、新体制の下、事業を実施しました。

監査会の開催	【概要】理事の業務執行状況及び法人の財産の状況について監査会を実施しました。 ①平成 27 年 5 月 13 日（水）、14 日（木） 1 平成 26 年度理事の業務執行状況及び事業並びに決算監査について
	②平成 27 年 11 月 18 日（水）、19 日（木） 1 平成 27 年度上半期理事の業務執行状況及び事業並びに中間監査について 【成果】理事の業務執行の状況及び法人の財産等の状況についての監査において、事業の健全経営を図ることができました。 また、今年度は任期満了による役員及び評議員の改選の年であり、新体制の下、事業を実施しました。

【1】会員数〈会費〉

一般会費	15,167世帯	4,550,100円（前年比99.62%）
賛助会費	2,483世帯	2,528,000円（前年比97.26%）
特別賛助会費	43法人・6個人	460,000円（前年比102.22%）
団体会費	15団体	45,000円（前年比100%）

【2】役員・評議員

理 事	16名	平成28年3月31日現在	
監 事	3名	〃	
評議員	32名	〃	（欠員1名）

平成27年度 会費納入及び助成金交付状況

平成28年3月末現在 (単位：円)

地区社協	納 入			合 計	交 付				合 計		
	一般会費	賛助会費	特別賛助会費		活 動 費 助 成			給食 サービス			
					一般会費	賛助会費	特別賛助 会費			合 計	
西	510,000	299,000	20,000	829,000	170,000	89,700	4,000	0	0	263,700	263,700
	1,700	298	2								
	417,600	558,000	95,000	1,070,600	139,200	167,400	19,000	187,800	0	325,600	513,400
上	1,392	552	12								
	105,000	0	0	105,000	35,000	0	0	47,700	0	35,000	82,700
	350	0	0								
魚町	79,200	69,000	0	148,200	26,400	20,700	0	0	0	47,100	47,100
	264	65	0								
	33,000	46,000	70,000	149,000	11,000	13,800	14,000	0	0	38,800	38,800
南町・柏崎	110	46	7								
	79,800	30,000	10,000	119,800	26,600	9,000	2,000	0	0	37,600	37,600
	266	27	1								
鹿折	180,000	157,000	20,000	357,000	60,000	47,100	4,000	0	0	111,100	111,100
	600	153	2								
	595,800	530,000	60,000	1,185,800	198,600	159,000	12,000	14,400	8,100	369,600	392,100
松岩	1,986	524	6								
	405,000	471,000	90,000	966,000	135,000	141,300	18,000	0	0	294,300	294,300
	1,350	461	9								
新月	191,400	0	0	191,400	63,800	0	0	51,000	0	63,800	114,800
	638	0	0								
	278,400	130,000	40,000	448,400	92,800	39,000	8,000	0	0	139,800	139,800
大島	928	128	4								
	360,000	220,000	50,000	630,000	120,000	66,000	10,000	28,800	0	196,000	224,800
	1,200	215	5								
面瀬	576,000	18,000	5,000	599,000	192,000	5,400	1,000	0	0	198,400	198,400
	1,920	14	1								
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
小泉	0	0	0								
	450,000	0	0	450,000	150,000	0	0	0	88,560	150,000	238,560
	1,500	0	0								
津谷	288,900	0	0	288,900	96,300	0	0	0	0	96,300	96,300
	963	0	0								
	4,550,100	2,528,000	460,000	7,538,100	1,516,700	758,400	92,000	329,700	96,660	2,367,100	2,793,460
合計	15,167	2,483	43法人6個人								

※下段は加入者数
 ※団体会員 15団体 45,000円

2. 地域福祉事業

事業名	内 容
地区社協会長会議の開催	【概要】住民参加による地域福祉活動の推進を図るため、会長会議を開催し、情報交換等を行いました。 ① 平成 27 年 7 月 1 日（水） 1 平成 27 年度会費の取りまとめ方について 2 気仙沼市社会福祉協議会役員及び評議員候補者の推薦について ② 平成 27 年 7 月 29 日（水） 1 関係行政庁の職員が社会福祉法人の役員に就任することについて 2 赤い羽根共同募金「街頭募金」への協力について 3 ボランティアセンター（復興支援センター）の支援状況について 4 地区社協活動（地域福祉活動）支援の取り組みについて ③ 平成 27 年 12 月 22 日（火） 1 平成 27 年度歳末たすけあい募金の配分について 2 地区社会福祉協議会活動助成配分について 【成果】地区社協間の情報交換や情報提供を行い、相互の活動状況把握ができました。また、被災者支援業務の現状や小地域活動への助成事業を詳しく説明をする中で、市社協事業への意見聴取もでき、今後の事業推進の参考とすることができました。 【課題】震災後、地区の状況は様々であり、可能な範囲での活動を推進されていますが、特に人材不足は大きな課題です。市社協として地区社協の活動を支援する基礎となる現状把握が必要です。 【今後の方向性】必要に応じて地区社協会長会議を開催し、情報共有と意見交換を行ないながら先駆的活動事例を発信し、活動推進を図ります。
地区社協活動支援事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 221,985 円 事業活動支出 2,342,785 円 その他の活動費資金収入 2,120,800 円 当期資金収支差額 0 円
地域福祉活動計画の推進	【概要】第 2 期地域福祉活動計画を進めるに当たって地域住民が地域福祉活動に主体的に参画し地域を創っていく、福祉のまちづくりを推進しました。 【実績】 地域福祉活動計画推進連絡会議（2 回） 地域懇談会（10 地区社協） 地域福祉活動計画推進委員会（3 回） 地域福祉活動計画推進委員会部会長会議（1 回）

調査研究事業 サービス区分より支出	地域福祉活動計画推進委員会部会（各１回） 【成果】地域福祉活動推進会議では、評価シートを作成して地域福祉活動推進委員会に提出して意見・要望をいただくなど、進行管理が行われました。また、地区住民懇談会では「小地域福祉ネットワーク活動」の説明を行うとともに、地域の福祉課題と具体的な取り組みを把握することができました。懇談会は地域の福祉課題を共有し、話し合える場として参加者からも好評でした。 地域福祉コーディネーターの配置に向けては、気仙沼市と協継続議しています。 【課題】６地区社協で懇談会を開催できませんでした。 また、地域福祉活動計画推進連絡会議及び地域福祉活動計画推進委員会が予定どおり開催できませんでした。 【今後の取組】推進連絡会議及び推進委員会を予定どおり開催し、適切な事業遂行に努めます。また、人材育成を柱とした研修等を段階的に開催します。 【決算】事業活動収入 222,970 円 事業活動支出 222,970 円 当期資金収支差額 0 円
生活相談所の運営	【概要】気仙沼地域では、「ふれあい相談センター」として社協本所相談室にて、週４日（月曜日、火曜日、水曜日、金曜日）午前９時から午後３時まで生活相談所を開設し、本吉地域では、毎週月曜日午前９時３０分から午前１１時３０分まで生活相談所を開設し、生活上の心配ごとや悩みごとの相談事業のほか、弁護士、医師、社会福祉士等による専門相談を実施しました。 【件数】一般相談 気仙沼地域：相談件数１８件 本吉地域：相談件数１４件 専門相談 法律相談 ５回（４９件） 心と体の健康相談 １回（１件） 介護相談 １回（２件） 【開設日】気仙沼地域：１７１日 本吉地域：４５日 【成果】傾聴することで相談者の不安軽減につながったほか、専門相談を実施することで、専門的な住民のニーズに応えることができました。また、サポート弁護士の協力の下、市担当課と調整し、買取期限が迫った災害危険区域の土地買取に関する相談会を実施しました。 【今後の取組】宮城県サポートセンター支援事務所やみやぎ被災者支援サポート弁護士の協力をいただきながら、法人内の連携の強化を図り、一体となった総合相談機能の構築に努めていきます。 【決算】事業活動収 1,541,689 円 事業活動支出 1,503,589 円 その他の活動支出 38,100 円

	当期資金収支差額 0 円
小地域福祉ネットワーク活動の推進	【概要】地域の援護を必要とする方々に対し、身近な住民等ができることで支援していく活動を推進するための小地域福祉ネットワーク活動推進会議を設置しました。また、地域でのネットワーク構築に当たり活動費を助成し、体制整備を図りました。 【実績】小地域福祉ネットワーク活動推進会議の設置と開催（1回） 小地域福祉ネットワーク活動推進会議先進地視察（登米市） 小地域福祉ネットワーク活動補助金については、2地区社協に交付し啓発活動と体制整備を進めました。なお、地区住民懇談会では「小地域福祉ネットワーク活動」の説明を行いました。 地域福祉推進フォーラムは3地域（西・上・本吉）で開催しました。 【成果】 小地域福祉ネットワーク活動推進会議の設置により、推進する上での課題や今後の方向性等について意見交換ができ、現状に合った小地域福祉活動の取り組みを再考する場となりました。 地域福祉推進フォーラムは3地域で開催し、地域での支えあいの取り組み発信と今後の独自開催の足掛かりができました。 【課題】現状にあったネットワーク活動推進に向け、規程等の改正が必要です。また、小地域福祉ネットワーク活動推進会議が1回だけの開催となりました。 【今後の取組】小地域福祉ネットワークが有効に機能できるよう、規程の改正を検討するとともに、市民に分りやすく啓発するパンフレット作成など、身近に参加できる支えあい活動の推進に努めます。 また、地域福祉推進フォーラム未実施地区での開催と合わせ、実施地区については、次年度からは独自開催が出来るよう側面的に支援しながら地域の福祉力を高めます。 【決算】事業活動収入 290,423 円 事業活動支出 290,423 円 当期資金収支差額 0 円
広報紙の発行	【概要】広報紙「気仙沼市社協だより」を6回（4・6・8・10・12・2月）発行し、全戸（応急仮設住宅含む。）及び関係機関に配布しました。また、本吉地域では「本吉支所だより」を6回（5・7・9・11・1・3月）発行し、本吉地域の全戸に配布しました。情報提供とともに住民の地域福祉活動への参加を促進する啓発活動に努めました。 【成果】広報委員会で具体的な企画や紙面づくりを行うことにより、地域の福祉活動を計画的に紹介する基礎ができました。 【課題】掲載記事の文字数が多いことから、簡潔な記載と併せ今後はページ数についても検討する必要があります。 【今後の取組】地域福祉活動を推進するための身近な情報紙として、地

福祉育成援助活動 サービス区分より支出	域のニーズや団体及び住民活動の紹介、福祉制度の周知など、住民視点に立ったわかりやすい紙面づくりに努めます。また、カラーページを設けるなどイメージも変えながら、常に手に取ってもらえる広報紙を目指します。 【決算】 事業活動収入 2,327,000 円 事業活動支出 2,238,423 円 その他の支出 38,100 円 当期資金収支差額 50,477 円
本吉地域福祉まつり	【概要】住民が楽しく主体的に集うことにより、福祉を身近に感じ、考えてもらう場とし、さらには、地域でのふれあいと支えあいが一層深まっていくことを願って開催しました。 【実績】 日 時 6月28日（日）午前10時30分～午後3時 会 場 本吉総合体育館、本吉公民館 参加者 約550名 【成果】昨年度の反省点を今年度の企画でどのように改善してよりよいまつりにしていくかの視点で準備に向き合うなかで実行委員等から様々な提案等をいただき、改善だけでなくさらなる工夫により世代を超えて楽しめる充実した内容となりました。特に今年度は、例年同じ会場であっても設営方法で会場を本吉地域の地図に見立てて『地区』を意識した取り組みを進め、会場の有効活用や効果的な人の流れができました。来場者は各コーナーを巡りながら福祉について考えたり理解を深める機会となりました。 【課題】住民が参加のみでなく運営に関わることが出来るよう繋がりづくりをすることを意識しましたが、今年度も最初の準備が出遅れ短期間で企画をまとめたことから運営での住民の関わりは希薄になってしまいました。計画的に企画準備を進める点で課題となりました。 【今後の取組】福祉教育の一環である福祉まつりは住民が様々な形で福祉に触れる良い機会となるため、次年度においても参加だけでなく運営に関わることができるよう、福祉への理解と併せて人と人との繋ぐ機会であることを強く意識し計画的に実施します。 【決算】 事業活動収入 2,327,000 円 事業活動支出 2,238,423 円 当期資金収支差額 88,577 円
本吉地域ひまわり会交流事業	【概要】ひとり暮らしの高齢者の孤独感解消と相互交流の場を提供することを目的にボランティア団体等の協力を得て実施しました。 【実績】 7月16日（木）参加者29人 協力ボランティア1団体 10月21日（水）参加者16人 協力ボランティア1団体 12月20日（日）参加者33人 協力ボランティア1団体 1月28日（木）参加者30人 協力ボランティア1団体 3月 4日（金）参加者40人 協力ボランティア1団体

	【成果】民生委員をはじめ、南部地域包括支援センターや津谷居宅介護支援事業所などから直接声掛けしながら案内することにより、参加者増に繋がりました。 【課題】参加案内を工夫することで、参加者が微増しましたが、参加率は1割程度と低いことから、開催内容や周知のさらなる工夫を行う必要があります。 【今後の取組】日中独居高齢者や震災後の住宅再建による居住地域の変更等により、日中独居高齢者や閉じこもりになりがちな高齢者が増加傾向にあることから、一人暮らし高齢者のみでなく、社会参加の機会の少ない高齢者にも目を向け、気軽に参加できるよう地域持ち回りでの会場設定や事業内容の工夫を検討し、事業のさらなる充実を図ります。 【決算】 事業活動収入 819,100 円 事業活動支出 880,699 円 当期資金収支差額 -61,599 円 (前期末支払資金残高から充当)
善意銀行の運営	【概要】市民からの多様な善意の預託を受け、その善意を効果的に地域生活支援並びに住民参加による地域福祉の増進に資するよう効果的な活用に努めました。 【実績】 預託 金銭 5 2 件 2,854,768 円 物品 1 3 件 (ゴミ袋、タオル、雑巾等) 払い出し 金銭 5 1 件 2,853,993 円 物品 2 6 件 (ゴミ袋、タオル、雑巾等) 【成果】寄付者の意向に沿い、地域の団体等への効果的な払い出しができました。 【課題】善意銀行への寄付者を地域別でみると偏りがあります。 【今後の取組】すみやかな事務処理に努めるとともに、必要に応じ広報による周知を図ります。 【決算】 事業活動収入 2,855,340 円 事業活動支出 2,856,699 円 その他の活動収入 16,346 円 その他の活動支 314,928 円 当期資金収支差額 -299,941 円 (前期末支払資金残高から充当)
地区社協活動費助成事業	【概要】地区社協が実施する地域・在宅福祉に関わる事業に関する補助金を交付し小地域の福祉活動を推進しました。 当該地区普通会費納入額の 1 / 3 相当額 " 賛助会費納入額の 3 / 10 相当額 " 特別賛助会費納入額の 2 / 10 相当額 【成果】補助金の交付により、地区事業の推進に対し支援することができました。 【課題】震災の影響により会員数の減少等があり、納入額が減った地区

地区社協活動支援事業 サービス区分より支出	社協が多く、活動費の補助も少ない現状にあります。 【今後の取組】安定した財源確保に併せ、会費を有効に使う手法の検討とともに、地区社協と市社協が一体となり事業の見える化を図ることにより、新規の会員を増やしていくことに努めます。なお、災害公営住宅入居者や防災集団移転者、自立再建者等、新居住者が増える地域もあることから、一層の理解促進に努めます。 【決算】事業活動収入 221,985 円 事業活動支出 2,342,785 円 その他の活動収入 2,120,800 円 当期資金収支差額 0 円
屋内ゲートボール場の運営	【概要】市民の福祉の向上と健康増進及びスポーツ振興を図るため運営しました。気仙沼市ゲートボール協会に管理運営を委託しています。 【実績】 開場 189 日 利用者延べ 2,077 人 【成果】子どもの競技人口を増やすためのきっかけづくりになるなど、市民のスポーツ振興の一助となっています。 【今後の取組】引き続き気仙沼市ゲートボール協会への管理委託を通して健康増進の一助になるよう努めます。 【決算】事業活動収入 660,000 円 事業活動支出 941,908 円 当期資金収支差額 -281,908 円 (前期末支払資金残高から充当)

3. ボランティアセンターの運営

ボランティア相談・調整等 事業	【概要】ボランティアコーディネーターを配置し、ボランティアの相談・ニーズの受付・調整・派遣やボランティアの育成・啓発を推進するとともに、相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めました。
	【実績】ボランティア相談 8 件 調整 8 件 被災者支援関係 災害ボランティア相談・問合せ 56 件 生活支援ボランティア相談・問合せ 74 件 調整 120 件 【成果】ボランティア活動希望者の相談に応じ、ボランティアの育成・啓発に努めました。 【課題】ニーズとボランティアが希望する活動内容がかみ合わず、的確なマッチングが難しい状況です。 【今後の取組み】引き続き市民の皆さまへボランティアへの相互理解と互助によるボランティア活動の機運の醸成に努めます。
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 3,996,931 円 事業活動支出 2,793,076 円 その他の活動収入 314,928 円 その他の活動支出 57,144 円

	当期資金収支差額 1,461,639 円
手話講座 —フォローアップ編— ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】東日本大震災後、手話講座や交流会等を開催していないことから、市内の聴覚障害者と手話奉仕員・手話サークル会員等の繋がりづくりを再構築し、今後の活動推進を目的に開催しました。 【実績】 参加者 22名 【成果】東日本大震災時の聴覚障害者への支援状況の理解とともに、あらためて交流の場となりました。また、今後の事業について意見交換もでき、参加者からは好評を得ました。 【課題】定期的な交流会と初級手話講座開催について要望がありました。また、市社協登録手話奉仕員の継続確認が遅れていることから、早期の確認が必要です。 【今後の取組】関係機関と連携しながら、継続して交流会を開催しながら、聴覚障害者への理解と交流を促進します。また、初級手話講座を開催し、活動者のすそ野を広げます。 【決算】事業活動収入 3,996,931 円 事業活動支出 2,793,076 円 その他の活動収入 314,928 円 その他の活動支出 57,144 円 当期資金収支差額 1,461,639 円
ボランティア交流会 ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】地元ボランティア団体の交流会を開催により、新たなまちづくりを共に担う仲間として、相互理解と協力体制づくりを進め、福祉のまちづくりを推進しました。 【実績】開催日 11月3日 実施場所 気仙沼市中央公民館 参加人数 30名（ボランティア 22名、小学生 8名） 【成果】小中学生のボランティアスクールと同時開催とし、ボランティアに興味のある児童生徒とボランティア活動者の交流を図ることができました。 【課題】団体のみの交流会ではなく、個人ボランティアやボランティアに興味・関心のある方にも参加していただけるような内容の検討が必要です。また、研修の開催など活動のフォローアップを図る必要があります。 【今後の取組み】既存の団体だけではなく、ボランティア活動に興味のある市民の方にも広く参加していただき、ボランティア活動者の増加に繋がるよう、内容の検討を行います。 【決算】事業活動収入 3,996,931 円 事業活動支出 2,793,076 円 その他の活動収入 314,928 円 その他の活動支出 57,144 円 当期資金収支差額 1,461,639 円

ボランティアスクール

高校生ボランティアスクール

【概要】障害児との交流の中で障害に対する理解を深めるとともに、ボランティア意識の啓発と福祉人材の育成を目的に開催しました。

【実績】日時 8月5日

場所 気仙沼市マザーズホーム

参加 高校生2名

【成果】今年度は案内した高校で行事が重なり、例年より参加者が少ない状況でしたが、発達障害に関する講話と障害児との触れあいを通して、参加した高校生も将来を考える上で有意義なものとなりました。

【課題】参加者の獲得に課題があります。

【今後の取組み】高校生、障害児、保護者にとって有用な内容であるとともに、マザーズホームやたばしね学園等の協力者にとっても、同種の事業者として継続した関係が構築できると相乗効果が見込めます。しかしながら、参加する高校生の減少に伴い、実施内容の検討を行う必要があります。

小中学生ボランティアスクール

【概要】次世代を担う子どもたちが実際にボランティア活動に触れ、地域福祉に関する理解を深めるとともにボランティア意識の啓発と福祉人材の育成を目的に開催しました。

【実績】日時 11月3日

場所 気仙沼市中央公民館

参加 30名（小学生 8名、 ボランティア 22名）

【成果】ボランティア交流会と同時に開催することにより、児童、生徒が実際に活動に触れ、地域福祉に関する理解を深めボランティア意識の啓発を行うことができました。

【課題】広く小・中学生に周知をしましたが、中学生からの参加を得ることができませんでした。

【今後の取組】開催時期の変更や学習内容を身近なテーマにすることにより、児童生徒が参加しやすい環境づくりに努めます。

ボランティア活動育成事業
サービス区分より支出

【決算】事業活動収入 3,996,931円 事業活動支出 2,793,076円
その他の活動収入 314,928円 その他の活動支出 57,144円
当期資金収支差額 1,461,639円

ボランティア保険の加入	【概要】ボランティアの方々が安心して活動できるよう、ボランティア保険への加入手続きを行いました。 【実績】加入者 1, 429人（前年度1, 362人） うち、ボラ保険掛金一部助成を受けた方 652人 （前年度 649人） 事故報告件数 3件 うち、支払い済件数 2件 【成果】安心安全なボランティア活動をサポートすることができました。 【課題】加入者が事故発生時にスムーズに保障を受けられるよう、仕組みづくりが必要です。 【今後の取組】ボランティア活動希望者へ保険の周知及び加入促進に努めます。
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 3,996,931円 事業活動支出 2,793,076円 その他の活動収入 314,928円 その他の活動支出 57,144円 当期資金収支差額 1,461,639円

4. 福祉教育

事業名	内 容
福祉教育活動費補助金交付事業	【概要】気仙沼市内の小中高等学校に対し、継続した福祉教育・ボランティア学習の支援を行うため、一校につき年額 15,000 円を上限に補助金の交付を行いました。 【実績】 補助校数 : 小学校 6 校 (前年度 7 校) 中学校 1 校 (前年度 3 校) 高等学校 2 校 (前年度 2 校) 交付金額 : 135,000 円 (前年度 180,000 円) 【成果】市内の小中高等学校に周知をしたところ、9 校からの申込みがありました。申し込み内容としては、主に高齢者福祉と障害者福祉に狙いを絞ったものが多いように見受けられました。 【課題】補助金を交付してから事業終了までの期間が長く、報告書の提出が遅れる学校がありました。また、学校の統廃合等により申請数が減少傾向にあります。 【今後の取組】補助金を活用して行われた事業の例などを提示し、補助金を利用しやすい環境整備に努めます。
ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 3,996,931 円 事業活動支出 2,793,076 円 その他の活動収入 314,928 円 その他の活動支出 57,144 円

	当期資金収支差額 1,461,639 円
行事参加協力調整事業 (高校生ボランティア等の活動調整) ボランティア活動育成事業 サービス区分より支出	【概要】市内の福祉施設等からボランティアの派遣を依頼された際に、市内の高等学校及びボランティア団体の協力を得てボランティアを募りました。 【実績】 気仙沼支援学校 運動会 10名 2校(前年度 11名 2校) グループホーム村伝さいち 敬老会 3名(朗読奉仕あいの会) 宮城県難病支援センター 医療講演会 4名(ボランティアフラワーメイト) おせっかい未来サポート 虹色参観日 4名 1校 八日町商店街振興会 復活!お日市まつり 1日目 14名 1校 2日目 16名 1校 松峰園 松峰祭 10名 3校(前年度 11名 2校) 気仙沼支援学校 学校祭 23名 5校(前年度 15名 3校) 【成果】円滑な行事の運営補助とボランティアへの活動の場の提供ができました。 【課題】高校生ボランティアの参加協力者の減少や行事直前になってからの依頼の増加があります。 【今後の取組】高校生のボランティア協力が年々減少しており、ボランティア活動についての啓発が必要であると思われます。他事業と連携し、広く市民へボランティアについての理解を深めるように努めます。 【決算】事業活動収入 3,996,931 円 事業活動支出 2,793,076 円 その他の活動収入 314,928 円 その他の活動支出 57,144 円 当期資金収支差額 1,461,639 円
24時間テレビ街頭募金協力	【概要】24時間チャリティ募金活動を通して、幅広い年代層からの募金への理解を図りました。 【実績】 開催日 8月23日 募金場所 イオン気仙沼店 スーパー片浜屋はまなす店 協力者 高校生ボランティア 20名 (市内 4高校) 【成果】市民の方々の募金へのご理解とご協力を頂きました。 【課題】ボランティア参加者への適切な休憩・水分補給の徹底による健康管理への配慮が必要です。 【今後の取組】幅広い年代層からの募金への理解を図ります。
福祉教育・企業・団体への職員派遣事業	【概要】外部団体等からの福祉教育体験の依頼に基づき、社協職員等の派遣を行っているものです。実施方法については、先方の要望に応じて内容を相談の上で行いました。 【実績】 依頼団体 : 小学校 延べ12校 : 中学校 延べ 2校

	内容 : 福祉講話、高齢者体験、車いす体験、視覚障害体験、点字体験、手話等の聴覚障害体験 対応 : 社協職員、他団体職員、ボランティア 【成果】障害についての理解を深め、福祉意識の向上につながる機会を提供することができました。 【課題】興味を持たせること、実践に繋げていくこと、講師の確保と手法の開発等を研究する必要があります。 【今後の取組】当面は現行のとおり実施しながらも、活動の際にボランティアに関しての理解や興味が持てるようなプログラムとします。
敬老作文募集事業	【概要】敬老をテーマにした作文に取り組むことで、児童が高齢者への理解を深めながら、尊敬や感謝、いたわりの気持ちなど敬老の心を培うことを目的に、市内の小学校に呼びかけ作文を募集しました。元教員、児童福祉関係者9名に審査を依頼し、各学年より最優秀1点、優秀3点を選びました。 また、受賞作品に関しては、社協だよりや地元新聞のほか、K-ネットへ情報提供しました。 【実績】 応募学校数 17校中16校 応募総数（学校への提出作品）117点 各学校からの選考作品数（審査対象作品）52点 受賞作品総数 24点 【成果】作文に取り組むことを通して児童に身近な高齢者への理解を深め、交流を促すことができました。 なお、従来どおり地元新聞への掲載に加え、今年度より K-ネットから後援をいただいたことから、学校からの協力も得て受賞児童24名の作文朗読が放映されました。 【課題】事業内容の見直しとテーマの設置。 【今後の取組】今後とも児童が高齢者に対する理解を深め、敬老の心を培う事を目的に作文を募集していきます。
児童青少年福祉活動事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 467,000 円 事業活動支出 223,071 円 当期資金収支差額 243,929 円

5. 資金貸付等事業

事業名	内 容
生活福祉資金貸付事業	【概要】資金の貸付と必要な相談支援を行うことにより、経済的自立と生活意欲の助長促進並びに在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送ることができるよう資金の貸付けや相談支援を行いました。また、宮城県社会福祉協議会と共に督促相談会を実施し、借受世帯実態把握と償還への働きかけを行いました。 【総貸付件数】 53件 【実績】 緊急小口資金 4件 300,000 円 福祉資金 1件 300,000 円 【成果】自立相談支援事業所（ひありんく）と連携しながら、世帯の生活再建に向けた支援を行うことができました。 【課題】長期滞納者や県外へ転出している借受者への対応が課題となっています。 【今後の取組】宮城県社協や民生委員・児童委員と連携し生活実態の把握に努めるとともに償還指導に一層努め、滞納解消を図ります。 【決算】 事業活動収入 7,939,616 円 事業活動支出 7,591,069 円 その他の活動支出 437,808 円 当期資金収支差額 -89,261 円 (前期末支払資金残高から充当)
生活福祉資金貸付金督促相談会	【概要】宮城県社会福祉協議会と共に、償還滞納者を対象に督促相談会を実施し世帯の実態把握と償還への働きかけを行いました。 【開催日】 平成28年2月9日（火） 対象者8名 【課題】面談に出席せず状況把握ができない借受者への対応が課題となっています。 【成果】世帯の実態把握ができたことに加え、今後の支払いについて借受人、県社協、市社協3者で確認することができ償還への働きかけを行うことができました。また、償還困難な方については、本会実施の無料法律相談や他機関に繋ぐなどして自立に向けた取り組みができました。 【今後の取組み】宮城県社会福祉協議会と連携し、今後も定期的に相談会を実施していくことができるよう努めます。
生活安定資金貸付事業	【概要】低所得世帯に対し、緊急に必要な生活資金の貸付を行うことによりその世帯の自立更生を援助し、生活の安定に資することを目的として、小口の貸付けを行いました。また、滞納が続いていた借受人については、訪問等を行い生活実態の把握に努めるとともに償還への働きかけを行いました。 【総貸付件数】 22件 735,000円

	【実績】貸付件数 : 10件 450,000 円 貸付調査委員会 : 4月23日 2月 5日 【成果】生活福祉資金に該当せず、かつ緊急に貸付の必要が生じた世帯に対し、迅速に対応して世帯の生活の安定を図ることができました。 また、時効が到来している債務や死亡及び行方不明等により回収不能な債務に関しては、貸付調査委員会を開催し、償還免除とする等債権の整理を行いました。 【課題】借受世帯の中には、生活が落ち着かず音信不通となる借受人もあり、生活再建に向けた支援ができない世帯も出てきています。 【今後の取組】定期的に通知を送付し、民生委員と連携しながら借受世帯の生活実態把握に努め、自立に向けた支援に取り組めます。 【決算】 事業活動収入 640,656 円 事業活動支出 459,800 円 その他の活動収入 1,288,830 円 その他の活動支出 1,186 円 当期資金収支差額 1,468,500 円
--	--

(震災対応事業)

生活復興支援資金貸付事業	【概要】東日本大震災により被災した低所得世帯に対して、当面の生活費や転居費用、住宅補修費等の必要な経費を貸付するものです。 ほとんどの借受人が償還開始となっていることから、生活状況の把握と償還指導を行いました。 【総貸付件数】49件 36,784,346円 【実績】 貸付件数 なし 【課題】 償還期限内ではありますが、償還に遅れや未だ就労先が見つからない借受人がいることから、生活の実態把握に努め、適宜必要な支援に取り組む必要があります。 【今後の取組】民生委員と連携し世帯の生活状況を把握するとともに、自立相談支援事業所等関係機関と連携しながら償還と世帯の自立に向け支援していきます。
特例緊急小口資金貸付事業	【概要】東日本大震災により、被災され当面の生活費を必要とする世帯に対し、震災対応の特例措置として緊急小口資金の貸付を行いました。(貸付は平成23年5月を以て終了しています。) 現在は、償還期限が経過していることから、滞納している世帯に対して、電話や自宅訪問を行い、生活状況の把握と償還指導を行いました。 【総貸付件数】293件 34,197,794円 【成果】 償還を完了し、自立再建が図られた世帯が有る一方、生活困窮に陥っている世帯については、自立相談支援事業所へ繋ぐなど生活再

	建に向けた支援を行うことができました。 【課題】転居先不明者や滞納が続いている借受人と連絡が取れないことが多くなっています。 【今後の取組】宮城県社協と連携しながら、転居先の調査を行うとともに引き続き電話や自宅訪問を行いながら生活実態の把握に努める等、計画に沿った償還が進むよう、支援の強化に努めます。
--	--

6. 援護活動

事業名	内 容
災害見舞金等贈呈事業	【概要】住宅火災に対し、世帯状況により災害見舞金の贈呈を行います。 【実績】 0 件 【課題】社会福祉事務所からの情報を基に、贈呈対応をしていることから遅れが生じます。 【今後の取組】出火原因の証明の取得方法を検討しながら、より迅速に見舞金として対応できるよう努めます。
歳末たすけあい募金配分事業	【概要】住み慣れた地域で暮らしていくために必要な様々な支えあい活動が展開できるよう、地区社協をはじめとした地域活動などへ配分しました。 【実績】 配分委員会 : 平成27年12月17日開催 配分額合計 : 7,107,119 円 (内訳: 募金 4,207,119 円、市補助金 2,900,000 円) 【成果】在宅長期寝たきり者と長期入院者への配分したほか、地区社会福祉協議会が実施する福祉活動への助成配分、障害福祉施設等への活動助成配分と新入学児童への安心・安全の支援へ配分しました。 【課題】個別対象者への見舞金としての配分を実施しましたが、在宅長期寝たきり者と長期入院者への配分だけとなりました。民生委員児童委員の協力による世帯把握を実施しましたが、生活困窮世帯の情報をすべて把握することが困難な状況です。 【今後の取組】地区社協会長等より地域の状況を確認しながら、募金趣旨に沿えるような配分を検討します。 【決算】事業活動収入 6,797,119 円 事業活動支出 6,107,536 円 当期資金収支差額 689,583 円

交通・海難等遺児に対する 就学支援費支給事業	【概要】交通事故、海難事故、労働災害及び病死（不慮の事故を含む。）により、扶養していた父母の一方又は双方が死亡した満18歳以下の高校在学までの者に、民生委員・児童委員を通じ就学支援費を支給しました。 【実績】遺児家庭 31世帯 遺児数 47名 贈呈金額 409,000円 高校生 10,000円×27名 中学生 8,000円×13名 小学生 5,000円×7名 【成果】遺児とその家族との対面での支援を通じ、相談しやすい環境づくりができました。 【課題】民生委員の改選等により、対象児童がいる地区において、民生委員の欠員が出た場合の支援のあり方について検討する必要があります。 【今後の取組】当面は現行通り支援を行っていきます。
児童福祉活動推進事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 42,000円 事業活動支出 474,134円 その他の活動収入 489,000円 当期資金収支差額 56,866円

7. 生活支援・障害福祉事業

事業名	内 容
福祉サービス利用援助事業 気仙沼・南三陸地域福祉サポートセンター（まもりーぶ気仙沼・南三陸）	【概要】宮城県社会福祉協議会から基幹社協として事務委託を受け、気仙沼市・南三陸町圏域に居住する利用者の通帳・印鑑の管理、専門員及び生活支援員の活動支援、研修実施協力等を行いました。 【実績】利用者66名（うち認知症28名、知的障害17名、精神障害13名、その他8名） 【成果】書類の管理や諸手続きの代行、金銭の管理をすることで、公共料金や家賃等の滞納問題が解消されています。また、身内からの財産搾取等の虐待ケースには、関係機関と連携しながら、財産保全をすることで、住み慣れた地域で安心して生活を送ることができるなど、地域生活の継続に寄与しています。 【課題】専門員及び生活支援員の不足や他機関の事業に対する認識不足、また、判断能力がほぼ無くなっている利用者の対応等が課題です。 【今後の取組】専門員及び生活支援員の補充のほか、生活支援員の資質向上を目的とした研修会を行います。また、判断能力が無くなった方については、地域包括支援センターと連携しながら、成年後見制度の活用

	を促すよう取り組んでいきます。 【決算額】事業活動収入 6,777,093 円 事業活動支出 6,777,769 円 当期資金収支差額 -676 円 (前期末支払資金残高から充当)
コープフードバンク事業	【概要】みやぎ生協との協定により飲食物の提供を受け、緊急時の生活支援の一助として生活困窮者への食料支援を行いました。主に、本会における資金貸付相談者や自立相談支援事業所、行政等から依頼があった困窮者へも食料支援を行いました。 【実績】29件 【成果】何らかの理由で一時的に生活困窮となっている世帯に対し、食料を提供することで生活再建の足掛かりとなるよう、また、他の支援までの繋ぎとなっています。 【課題】在庫の状況により提供できる食料の数量に差異が生じているため、常に一定の食料の確保に努めることが必要です。 【今後の取組】引き続き必要に応じて在庫を調整し、緊急時の支援に対応できるよう努めます。
視覚障害者ハイキングの実施	【概要】外出の機会の少ない視覚障害者を対象に、運動機能低下の抑止、人との交流、気分のリフレッシュ等を目的として、地域の団体や介添ボランティアの協力を得て、ハイキングや体験活動を実施しました。 【実績】開催日 6月21日(日) 行き先 モーランド本吉 参加人数 29名 視覚障害者14名、介添ボランティア15名 【成果】昨年とほぼ変わらない参加をいただきました。自然に触れあいながら、普段はなかなかできない動物とのふれあいや買物等、思い思いに楽しい時間を過ごすことでリフレッシュできました。 【課題】参加者の高齢化で、ハイキングという趣旨に沿わなくなっている現状があります。 【今後の取組】次年度に向け、事業趣旨、実施方法の見直しを行います。
障害者福祉活動事業 サービス区分より支出	【決算】事業活動収入 68,247 円 事業活動支出 86,247 円 当期資金収支差額 -18,000 円 (前期末支払資金残高から充当)
ガイドヘルパー派遣事業	【概要】視覚障害者の社会参加を支援し、視覚障害者の社会生活範囲の拡大と福祉の増進を図ることを目的として、視覚障害者介添人の派遣を行いました。 【実績】活動延人数 51人 (前年度 64人) 依頼件数 46件 実人数7人・2団体 (前年度 56件) 【成果】個人利用では通院、団体利用では会議や行事などを中心に利用

